



／ 知ってほしい。消防署のこと。／

「ヒーロー」であるために！

■問合せ 枕崎市消防本部 TEL72-0049

いつ、どんな災害が起こるか分からない。市民に助けを求められたとき「もう大丈夫、私たちが来ました」と言えるヒーローであるために、消防職員が行っている日々の訓練や業務の様子を紹介します。

今月紹介するのは、「救助技術指導会訓練」です！

救助技術指導会とは、数種目ある救助技術で、県や九州、全国の消防職員と互いの技術を高め合うための大会のことをいいます。全ての訓練において、体力的・精神的にも疲弊しますが、市民のヒーローであるために、我々は努力を怠りません！

ロープブリッジ救出

助けを求める人(要救助者)が、対岸などにいる時に、隊員がロープで対岸に渡り、救出活動を行うための救助技術です。対岸に渡した別のロープで、要救助者を安全・確実・迅速に救出する訓練です。



引揚救助

低い所にいる要救助者を高い所へ救出するための救助技術です。空気呼吸器を(ポンベから空気を吸うための装備)を装着した隊員が、ロープを使って高い所から降りて、要救助者を安全・確実・迅速に高い所へ引き揚げて救出する訓練です。救出完了後は空気呼吸器(自分の体重に加えて数kgの重さを背負っている隊員)が自らロープを登ります。



ロープブリッジ渡過

20mの水平ロープ上を、2種類の渡り方で安全・確実・迅速に往復する訓練です。



はしご登はん

地上15mのはしごを安全・確実・迅速に登る訓練です。



枕崎市消防本部公式Instagram

消防に関するイベントや訓練などの情報や訓練等の実施などの情報を発信しています。

フォロー、いいね！をよろしくお願いします！

今月の担当は 家康 隊員 です！

こんにちは！地域おこし協力隊の家康です。今月はオープン予定の「Whispering Meadow」についてご報告します。

地域おこし協力隊 活動レポート

協力隊が行く！



東白沢地域にガーデン・農業体験スペースを整備

地域美化活動の一環として、別府地区の東白沢に位置する約2500㎡の耕作放棄地を「Whispering Meadow」というガーデンに整備しました。Whispering Meadowは「季節の花と風が吹くメドウガーデン」という意味。チューリップ・シロカラシ・河津桜・ブルーベリー・ビワで構成された「Meadow garden1」、シロカラシ・クローバー・コスモス(予定)で構成される「Meadow garden2」、それと、移住希望者及び市外在住者向けの「家庭菜園体験場」の3つのエリアで構成されています。



昨年、秋から約3カ月間、雑草や雑木、そして竹をすべて切り倒した後、土の中に埋まっていたゴミ(ビニール、瓶、プラスチックなど)を取り除き、元の土地の姿に復元しました。1月には畑を耕しながら、枕崎市の市章とシンボルマークをモチーフ

にした太陽と青い海の波(または風)、その間には群れを成して泳ぐカイツを表現し、ガーデンの全体的なイメージを作り上げました。丸い形と波形の畝を見た人から「謎の畑」と呼ばれています(笑)。

1月末から3月までにはシロカラシ、チューリップ、クローバー種をまきました。「シロカラシ」はイエローマスタードの原料となる野菜でマイルドな辛味が特徴。春には菜の花に似た黄色い花が咲き、緑肥としても利用される植物です。土壌の質改善、窒素(N)供給、雑草抑制、微生物増加、害虫効果の役割を果たすため、自然型庭園である「Whispering Meadow」にもぴったりの植物ですね。

ゴールデンウィーク連休前にオープンして夕方にも観覧ができるようライトアップも整備する予定！場所は国道226号に接する「白沢水道工事店」からすぐ、入場は無料です(観覧時間午前7時〜午後9時)。今後さまざまな季節の花を追加したいと思っておりますので、お楽しみください。



スポーツ・文化 イベント情報

南浜館
開 9:00 ~ 17:00 ※入館は16:30まで
休 毎週月曜日 ※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 スポーツ・文化振興課 TEL72-9998

○南浜館リニューアル記念新収蔵品展開催中

現在、南浜館において、南浜館リニューアル記念新収蔵品展を開催しています。令和6年度に南浜館で開催された、国内外で活躍しているダウン症の書家 金澤翔子氏の特別企画展「書家 金澤翔子展～共に生きる～」の記念イベントで制作された席上揮毫作品のほか、昨年開催された「第4回枕崎国際芸術賞展」の大賞作品などを展示しています。

- 会期 4月22日(水)まで ※月曜日休館
- 入館料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料



○薫風の陶芸展POTTERY2026

鹿児島陶芸家協会の協力を得て、会員の個性あふれる作品展示や体験ワークショップ、

お茶席など、さまざまなイベントを開催します。

- 会期 4月26日(日)～5月27日(水)
- 入館料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

○第34回黒潮すもう大会

毎年6月第2土曜日に開催している黒潮すもう大会は、5月の土曜授業終了後に下記のとおり開催します。

小学校対抗の団体戦と個人戦が開催されます。市内の小学生の皆さんの参加および、市内の皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

- 会期 5月9日(土)午後1時30分～
- 場所 駒場公園相撲場(荒天時：武道館)
- 申込要件 3年生以上の児童
- 申込方法 学校で配布される申請書を各小学校へ申し込みください。
- 問合せ スポーツ振興係 TEL76-1348

市長 コラム vol.83



3月、市内の各学校では卒業式が行われました。私は小学校の卒業式の祝辞の中で、これから中学生になる子どもたちに「本を読んでください」とお願いをしました。今はスマホ一つで、知りたいことがすぐ手に入る便利な時代ですが、あえて本を手にとって著者の考えをじっくり聞いて、自分で考える時間を持つてくださいますようお願いしました。本を通じて「自分ならどう考えるか」を巡らせて、考える癖を身につけてほしいとの思いでそのようなメッセージを送りました。

一方で「自分で考えて」判断し行動を起こすことに疲れている社会があるようにも思います。「新自由主義経済」といわれる社会です。この新自由主義の経済は「自分のことは自分で。国は余計な口出しをしないので、自由に競い合ってください」というような経済です。いわば放任主義のような時代が長く続いてきたのが、我が国の経済社会でした。その結果、企業はコスト削減を至上命題に、より安く売るといふ競争が進み、大型店舗が乱立・競合し、格差が生まれるなど、自由競争の弊害に市民が疲れてしまった環境があるのも事実です。この「自分でやらねば」の自己責任の時代に疲れた心に響いたのが「守りたい」という依存の心、先月のコラムで「高市早苗に母を見た」と書きましたが、そんな日本人の心境があるのではとも思います。

今の時代、「自分で考え行動する」と「何かに依存して背中を押してもらいたい」が行ったり来たりしている時代かもしれません。それでも、子どもたちには「自分で考える」を実践してほしいと思います。そして私たち大人も、難しい時代ですが「自分で考える」を忘れないでほしいものです。